



THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教 100～110 周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

2016年3月1日(月) 第749号

発行所 福音新聞社 (1部100円)
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
☎ 03-3202-5398
発行人/金性済・編集人/金柄鎬

e-mail: fukuinshinbun@kccj.jp

2016年 復活節メッセージ

復活への希望

(コリントの信徒への手紙 I 15:20～26)

趙永哲牧師(総会書記、大阪北部教会)



2016年の復活節(イースター)を迎え、神さまの大いなる御恵みと平和、そして豊かな祝福が皆さまの一人一人と仕える諸教会、御家庭の上に満ち溢れますことを心からお祈り申し上げます。

さて、わたしたちが過ごしているこの世には、数多くの信仰と宗教が存在しています。その中で、わたしたちが信じているキリスト教と他の宗教を比較して見る時、キリスト教だけの独特な特徴とは、それはまさに「復活」だと言えるでしょう。この「復活」は、キリスト教の核心です。それ故、キリスト教に「復活」がないならば、それは何の意味もないでしょう。

一般的に、コリントの信徒への手紙 I 15章を「復活の章」と言います。イエスさまは、十字架の上で死なれ、三日目によみがえられた後、大勢の人々に現れました。言わば、「復活の証人がたくさんいる」のです。その中で、使徒パウロも復活の証人の一人としてイエスさまの復活について様々な証言をしています。

「キリストが復活しなかったのなら、わたしたちの宣教は無駄であるし、あなたがたの信仰も無駄です。」(コリント 15:14)、「そして、キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお罪の中にあります。」(コリント 15:17)

つまり、イエスさまの復活がなければ、わたしたちの信仰も、宣教も、虚しくなります。それだけではなく、「わたしたちは、今もなお、罪の奴隷として生活する惨めな存在になってしまう」ということです。特に、イエス・キリストの復活は、人類の歴史上、最大の奇跡です。なお、キリスト教の信仰は、「暗闇や死亡を打ち勝った復活と命の信仰」、「絶望を乗り越える希望の信仰」なのです。

復活節を迎え、この世の暗闇の中で生きているわたしたちの人生において、イエスさまの復活がどのような希望を与えたのかについて共に考えながら、「復活への希望」について確認して見ましょう。わたしたち人間にとって、イエスさまの復活はどんな希望になるのでしょうか？

1. イエスさまは、眠りについた人たちの初穂となられることによって、復活への希望を与えました。

「しかし、実際、キリストは死者の中から復活し、眠りについた人たちの初穂となられました。」(20節)

復活を信じない人々は、人が死んだらそれで終わりだと考えます。しかし、復活の信仰を持っている人は、たとえ、今肉体的に死んだとしてもいつか再びよみがえることを信じます。これこそ復活の信仰です。

だから聖書は、「死んだ」と言わず、「眠りについた」と表現しているのです。さらに、イエスさまは、「眠りについた人たちの初穂」となられた言われます。よみがえられたイエスさまを信じることによって、わたしたちもよみがえるのです。つまり、わたしたちにも「復活への希望がある」ということなので、幸せな人です。

2. イエスさまの復活を信じることによって、永遠の命の希望が与えられます。

人類の歴史を見ると、アダムが罪を犯し墮落することによって、人類は死に直面しました。しかし、イエスさまが罪人であるわたしたちの代わりに十字架で死なれ、贖って下さることによって、死んで行く人類に新たな生命を与えて下さいました(21-22節参照)。使徒パウロは、「そこで、一人の罪によってすべての人に有罪の判決が下されたように、一人の正しい行為によって、すべての人が義とされて命を得ることになったのです」(ローマ 5:18)と言います。ここでの命とは、復活による新たな命であり、永遠の命です。「これこそ、御子がわたしたちに約束された約束、永遠の命です」(1ヨハネ 2:25)。このように、復活のイエスさまを信じることによって、永遠の命が与えられることが一番大きな希望なのです。

3. 復活への信仰を持っている人は、復活への希望(福音、Good News)を宣べ伝えます。

イエス・キリストの復活を信じる人々には、復活への希望を多くの人々に伝える使命が与えられています。福音を宣べ伝える伝道の中身は救いです。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたも家族も救われます」(使徒 16:31)。ここで、「救われる」ということは、イエスさまの十字架の上での血潮によるものでありますが、復活を通して新たな希望を持って勝利することが出来ます。

信仰生活とは、救われることだけが目的ではなく、復活への信仰、復活への希望を持ってイエスさまがこの世に打ち勝っておられたように、わたしたちもそのような生活を営んで行くことなのです。

愛する皆さん！イエスさまの復活は、人類の最大の祝福と喜びのお知らせです。イエスさまを信じ従う人にとっては最大の希望なのです。どうか、2016年度の復活節を迎え、皆さんのために、この地に来られ、死なれ、よみがえられたイエスさまの復活への信仰と希望を持ちましょう。

この世においては希望が見えにくくても、真の希望が満ち溢れる主イエス・キリストの復活の信仰生活が与えられますように、切に願います。

<西部地方会>

第 32 回 日韓信徒大会



1月11日(成人の日)、在日大韓基督教会・日本基督教団との宣教協力に基づく、兵庫教区と西部地方会主催で、第32回「日韓交流信徒大会」が、「主は一つ、信仰は一つ」(副題:隣人として、家族として、生きる)という主題で、日本基督教団神戸栄光教会において開催された。

開会礼拝では、両教会の信徒が「ハレルヤ」を合唱し、野田和人牧師(神戸栄光教会)が「和解の体」(エフェソ2:14～22)という題で説教した。その後、聖餐式と青年の祝福式が執り行われた。2名の青年が、今後の決意を表明し、一同から祝福を受けた。

礼拝後は、150名ほどの参加者が9分団に分かれて、お弁当を食べながら交わりを深めた。

午後は、神山美奈子牧師(甲陽園教会)と洪伊杓牧師夫婦(丹後宮津教会)が、「隣人として、家族として、生きる」という題で、映像・歌・讃美等を用いて講演を行った。さらに、洪伊杓牧師の双子の弟である洪承杓・裴閔淑夫婦も協力して、「言葉や文化が違う隣人がどのように接し交わっていけば良いのか」について述べた。

閉会時には、安井修二氏(日本基督教団神戸教会)が参加し、2015年11月の本総会が主催した「第3回マイノリティ問題と宣教国際会議」について報告した。

今回は、教団が111名、西部地方会が35名、来賓・奏楽者・教職者が11名、合計157名が参加した。

この大会は、毎年1月の成人の日で開催される。このような日本の教会とキリスト者との交わりを通して、主において結ばれている一つの家族であることを再確認することができた。(報告:金哲鎬長老、神戸東部教会)

<関西地方会> 伝道部主催
新年査経会

1月9日(土)～11日(月)、関西地方会では、伝道部(部長:金必順牧師)主催で、大阪地域は大阪北部教会で、京都地域は京都南部教会で、「新年査経会」がそれぞれ開催された。

今年の「新年査経会」は、李明信牧師(山形ウリ教会、東北大学寄附講座臨床宗教師課程修了、臨床相談師)が講師として招かれた。

最初の集会は、9日(土)午後7時から、大阪北部教会で、80名が参加して、宋南鉉牧師の司会で開催され、聖歌隊が讃美奉仕をした。



2回目の集会も10日(主日)午後3時から大阪北部教会で行われ、金必順牧師の司会で、122名が参加して開催された。この時には、関西地方聖歌隊連合会が讃美した。

この時、李明信牧師は、「わたしたちへの神さまのビジョン;幸いに至る道」という題でメッセージを伝えた。

さらに、11日(月)午後3時から、京都南部教会では、朴成均牧師の司会で、約30名が参加して、李牧師による「教役者、師母セミナー」(主題:あなたの家に泊まりたい)が開催された。

最後の集会は、11日(月)午後6時から、京都南部教会で、許伯基牧師の司会で、同教会の聖歌隊による讃揚と関西地方会教役者一同の特別讃美をもって開催された。

今年の新年査経会は、関西地方会の各教会が神さまの御言葉で大きな恵みを受けて、1年を忠実に生きて行くことを誓う時であった。新年査経会のために奉仕された方々に感謝しながら、これからも関西地方会の各教会が連合して、御言葉で恵みを受け、祈りと伝道に専念して行くことを願う。

(報告:金大賢牧師)

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国YMCAは皆様と共に歩みます。



東京◆ホテル:東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様会議及び宿泊研修(50名)も可能。
・スペースYホール:200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
・YMCA東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】

関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャング】

在日本韓国YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韓国YMCAアジア青少年センター ☎ 101-0064

関西韓国YMCAアジア青少年センター ☎ 537-0025

*会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。

東京都千代田区猿樂町2-5-5 ☎ 03-3233-0611

大阪市東成区中道3-14-15 ☎ 06-6981-0782

税 込	平 日	休・休前日
シングル	¥6,500	¥6,000
ダブル	¥10,500	¥9,700
トリプル	¥13,500	¥12,500
朝食・コーヒー¥200(宿泊者価格)		

<中部地方会>

許光涉牧師委任式



3月6日(主日)午後3時30分から、中部地方会の岡崎教会において、許光涉牧師委任式が、臨時堂会長鄭守煥牧師(豊橋教会)の司会と地方会長金仁果牧師(岐阜教会)の司式により行なわれた。

7年前から牧師赴任問題で教会と地方会の間に葛藤が続いたので形式的な請聘が出来なくなっていたが、去年の秋から和解の話があり、実を結んだ。説教にあたった権潤日牧師はヨハネ 11:1～15の本文を用いて「ナザロの死からよみがえられたのと同様、岡崎教会も7年間の苦しみからよみがえられて成長して行くことを願う」と語った。



中部地方会から岡崎教会の担任牧師として委任を受けた許光涉牧師は、1968年、ソウルで生まれた。

ソウル神学大学校の神学科、神学大学院を卒業し、基督教大韓聖潔教会で牧師按手を受け、2006年に宣教師として来日してからは豊田めぐみ教会に担任牧師として2011年4月まで仕え、岡崎教会には2011年5月から仕えてきた。

(報告:編集部)

豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 吳永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店: 東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100



<中部地方会>

金光洙名誉長老召天

在日大韓基督教会の初代副総会長(1971～1973年)を歴任された名古屋教会の金光洙名誉長老が、2月29日天に召された。

3月2日(水)に前夜式、3日(木)に告別式が、生涯に仕えて来られた名古屋教会にて、金性済牧師の司式により厳粛に行なわれた(享年94歳)。

故・金光洙名誉長老は、1922年韓国で生まれ、1938年渡日、大阪西成教会にて受洗、1950年から名古屋教会に出席、1961年長老将立され、1994年名古屋教会の名誉長老に推戴された。同志社大学、明治大学などを卒業し、社会福祉永信会の理事長、在日本韓国YMCA理事長などを歴任し、大韓民国大統領勲章「冬柏章」を受章された。

<ご遺族>

- ・妻: 姜順明 (名古屋教会名誉勸士)
- ・長男: 金榮哲 (韓国大邱在住、大邱第一教会長老)
- ・長女: 美利リチャードソン (米国オレゴン州在住)
- ・次男: 金榮助 (米国オレゴン州在住)
- ・子: 朴太元牧師 (在日大韓基督教会)
- ・孫: 4名

(報告:編集部)



<関西地方会>

兪台植名誉長老召天

在日大韓基督教会の副総会長(2003～2005年)を歴任された京都教会の兪台植名誉長老が、3月2日(水)召天された。

3月4日(金)に前夜式、5日(土)に告別式が、永らく仕えられた京都教会で、林明基牧師の司式により厳かに挙行された(享年79歳)。

故・兪台植名誉長老は、1936年韓国で生まれ、1984年京都教会の長老将立、2007年京都教会の名誉長老に推戴された。立命館大学を卒業し「近畿産業信用組合」の副会長、「MK株式会社」副会長などを勤められた。

<ご遺族>

- ・妻: 洪玉江、子: 一女二男、孫: 7名(男5、女2)

(報告:編集部)

総会神学生・宣教師 研修会日程

2016年度「総会神学生・宣教師研修会」の日程だけをお知らせいたします。詳しい内容は、次号に公告いたします。

・2016年7月4日(月)～15日(金)

＜韓日5教団宣教実務者会議＞

宣教師派遣・受け入れ問題



2月3日(水)～4日(木)、日本基督教団(UCCJ)と在日大韓基督教会(KCCJ)における宣教師派遣および受け入れ問題を課題にし、韓国のKMC(基督教大韓監理会教会)、PCK(大韓イエス教長老会統合)、PROK(韓国基督教長老会)の韓日5教団による実務者会議がソウルで行なわれた。

KCCJからは金性済総会長、鄭然元宣教委員長、金柄鎬総幹事が、UCCJからは岸憲秀牧師(韓国教会との宣教協約委員長)、道家一紀総務部幹事、加藤誠世界宣教部幹事が参加した。韓国の3教団からもそれぞれ2～3人の実務者が参席して宣教師を送る側と宣教師を受け入れる側の実情や問題点を報告し、いくつかの問題点を絞って次回の会議で合意点を討議することにした。

KCCJには、現在、視務牧師(臨時、副牧師を含む)が88名であるが、その中で、韓国の宣教協約教団から派遣された宣教師は43名で、宣教師の役割は大きい。KCCJの日本における在日同胞への宣教理念を理解して、積極的に学びつつ協力的な姿勢をもつ宣教師がいれば、そうではない宣教師もいる。時には、宣教地において問題を起こして教会や総会を混乱に陥れる宣教師もいるのも現状である。このような状況は日本基督教団も同様であると言える。無牧の教会が10%を越えていても、年々増え続けている韓国からの宣教師や加入(転入)牧師の受け入れ態勢に悩んでいるのも事実である。

このような話し合いの中から、次回の会議では引き続き討議し合おうとする予想課題は以下のものである。

- 宣教師の支援方案(住宅、生活費、日本語習得訓練)。
- よい宣教師養成のために、共同でプログラムを開発。
- 宣教師の現地適応(言語、文化など)のため、インターン制度活用。
- 定期的に、5教団が主催する現地宣教師たちの研修会。

次回の会議は、6月7日(火)～8日(水)、東京で開催することにした。

(報告：編集部)

＜世界改革派教会共同体＞

WCRC 東北アジア部会総会

2月1(月)～3日(水)、世界改革教会共同体(WCRC)の東北アジア部会(NEAAC)総会が、「東北アジアにおける変革と宗教改革」との主題のもと、韓国ソウルにて開催された。

在日大韓基督教会(KCCJ)から金性済総会長、金柄鎬総幹事、韓国留学中の李相勲牧師の3名が参加した。同総会では、張允載教授(梨花女子大)による基調講演、金性済牧師による聖書研究、WCRC および各加盟教団による報告などを受けた後、全体会議がもたれた。

「新たな宗教改革：キリスト教の変革と虹を置く神」と題した基調講演では、環境破壊が人類や他の被造物の生存にとって危険水域に達している現在、キリスト教は神および世界についてのその人間中心的理解を放棄し、新たな宗教改革によって変革される必要があることが説かれた。



また、「敵意を越えて歓待へ：巡礼者アブラハムとイエスの道」と題した聖書研究で金性済牧師は、神が寄留者であるアブラハムやイサクに与えた使命は敵意に満ちた世界に歓待の心をもたらしことであつたと述べた。

報告のセッションでは、宗教改革500年にあたる来年にドイツ・ライプツィヒで開催されるWCRC総会に関する説明があつたほか、KCCJからは「マイノリティ宣教センター」についての説明がなされた。

全体会議では、円滑な引き継ぎのためNEAAC役員の職務についてのマニュアルを作成する作業部会を設置することが決定され、その部会員として金性済牧師らを選出された。

これまで日本、韓国、台湾の順に役員(会長、書記、会計)が担われてきたが、新たに中華基督教会香港区会(香港)が加わったのを受け、日本、韓国、香港、台湾の順に役員を担うことが決定され、今回は香港がその任にあたることとなった。

(報告：李相勲牧師)

愛するとき民族差別のない平和が創られる

宋富子名誉長老（川崎教会、文化センター・アリラン副理事長）

—「文化センター・アリラン」の建設に、ご協力ください—

日韓、日朝の和解と交流のために



わたしは、在日コリアン2世で、4人の子供の母（75才）です。31才に、キリスト教の信仰を持つまでは、「チョーセン人」といじめられ、自殺未遂ばかりを繰り返していました。日本の国籍を取って、日本人になることが夢でした。しかし、故李仁夏牧師から「自分を愛する、隣人を愛する」というメッセージを聞き、愕然として、翌日から聖書を学び、すべての価値観が変わりました。

それで、家にあった宝石と日本の着物を処分して、歴史の本を買いました。そして、民族差別撤廃運動に関わりました。さらに、日本には、真実の歴史を伝える「歴史館」が皆無なのを知り、驚いて、「一人芝居」という舞台を通して、日本で初めて、「戦争記念館を建設しましょう！」と訴えました。

1991年、新聞に大きく掲載された在日同胞女性の投稿を機に、東京都稲城市に、同胞と市民による歴史館である「高麗博物館を作る会」が結成されました。私は、「天の助け」だと考え、会場募金全額を寄付し、役員を引き受け、舞台を通して3年間で600万円が集まり、2001年に歴史館は開館され、私は6年間初代館長を務めました。

2012年、安倍政権は「教育基本法」を改正しました。なお国会では、違憲である「戦争3法」が多くの反対の声にも関わらず成立してしまいました。現在は、ヘイトスピーチをまき散らす団体が警察に守られ、「朝鮮人・韓国人を殺せ！」とデモをしています。

あるがままの人格を尊重し、尊敬する人間教育こそが真の教育ですが、私たちが愛する日本の社会は、尊い命が破壊されています。命を破壊する教育や社会の現実から脱皮するためにも、「文化センター・アリラン」が必要です。

私は、8年前から「アリラン」（2009年、新宿区の大久保に移転）で奉仕して来ました。現在は、日本で最も必要な日本と韓国・朝鮮関連の近現代史が中心の書籍を5万5千冊所蔵しています。

ですので、図書の閲覧だけでなく、毎月1回の歴史連続講座、姜徳相館長による週1回の「姜ゼミ」（近現代韓日関係史）、差別と暴力を考える会、ビデオ上映会、ハングルで絵本を読む会などの活動をしています。

「アリラン」の目的は、在日コリアンが真実の歴史を学んで自己を回復し、ありのままの自分を愛することです。ともに信頼関係を築き、民族差別のない「平和で平等な社会」を築くことです。学生たちのゼミの実習の場でもあります。特に、日韓・日朝関係を和解に導き、自由な交流を実現するためにも大事なセンターです。

現在の「アリラン」の夢は、すべての書籍と資料がどなたにも利用できるように、蔵書、史料が一堂に開架できる図書館を建設するところです。図書館の中に歴史館も併設します。予算は2億円です。会員は、1年間1万円（1日28円）です。現在は500名以上が会員ですが、「アリラン」を新設するためには、1万人の会員を目標にしています。

教会、キリスト者の皆様！お金の使い方でもその人の信仰が分かるとも言われています。家計に、少しでも余裕のある方は会員になって助けてください。私たちが本気で日本の国を愛するとき、「民族差別のない平和と正義」が創られると信じています。みんなで、日本に一つしかない「アリラン」を建設しましょう。神の愛、皆様の広くて深い愛を信じ、協力をお願い申し上げます。感謝申し上げます。

※紙面の関係上、要約文を掲載いたします。

全文は、総会ホームページをご覧ください。

NPO法人文化センター・アリラン

理事長 金容斗（若葉眼科病院会長）

館長 姜徳相（滋賀県立大学名誉教授）

・住所：169-0072 東京都新宿区大久保1-12-1

第二韓国広場ビル8階

電話 03-5272-5141、FAX 03-3232-0090

Mail info@arirang.or.jp

・会費

賛助会員：1万円

正会員：1万円

毎月の維持会員：

一口各3千円、

5千円、1万円

・休館：月曜、火曜

・郵便振替

00160-9-

651648

特定非営利活動法人文化センター・アリラン

豊かな味、豊かな心。



妻家房

SAIKABO

代表取締役 吳永錫（東京希望キリスト教会 長老）

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

在日大韓基督教会

新韓日讃頌歌

新韓日讃頌歌
새한일찬송가

本誌2,500円（税込）

■お問い合わせ先
在日大韓基督教会 総会事務局
〒169-0072 東京都新宿区大久保1-12-1
TEL 03-5272-5141 FAX 03-3232-0090
2016年2月25日（日）発行
〒169-0072 東京都新宿区大久保1-12-1
TEL 03-5272-5141 FAX 03-3232-0090